

第3回区政モニターアンケート
「ボランティア活動について」



調査の概要

この報告書は、平成6年度第3回区政モニターアンケート「ボランティア活動について」の回答をまとめたものです。

調査目的 区民のボランティア活動への関心・要望等を把握し、福祉行政に反映させるために調査を行いました。

調査方法 調査票、回答とも郵送

実施時期 平成7年1月

送付数 50人

回収数 50人

回収率 100%

回答者の性別・年代別・職業別の構成

年代 性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男	2	2	0	4	4	3	15
女	5	12	6	9	3	0	35
計	7	14	6	13	7	3	50

職業別	自営業主	管理自由職業	事務技術職	サービス職	パートタイム	学生	主婦	無職	その他	計
人数	7	1	5	0	3	3	22	9	0	50

調査結果、分析の見方

回答の比率(%)は、その設問の回答者を基礎として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したので、比率の合計が100%に満たない、または上まわる場合があります。(Nは回答者数、未記入の場合は50人)

要 旨

ボランティア活動についてのイメージは、「人のためにする活動」が62%で最も多かった。ボランティア活動に関心があるかは、『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』が、86%だった。

この1年間にボランティア活動をしたかは、「現在している」・「過去にしたことがある」と合わせて50%だった。どんなボランティア活動をしているか（していましたか）は、「青少年健全育成に関する活動」が一番多く約43%だった。

どのくらいの頻度で、ボランティア活動をしているか（していましたか）は、「月に2～3日くらい」が一番多く約27%だった。ボランティア活動を始めたきっかけは、「自分の自発的な意思で」が一番多く50%だった。ボランティア活動をして良かったと思うことは、「友人を得ることができた」と「多くの人たちとの交流ができた」でそれぞれ50%だった。

これまでボランティア活動をしたことがなかったのはなぜかは、「忙しくて時間がないから」が一番多く50%だった。

もし、近所に他人の手助けを必要とする高齢者などがいたらどのように関わると思うかは、「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」が一番多く40%だった。他人の手助けを必要とする高齢者などのために、協力できる（協力してみたい）と思うものは、「話相手・新聞の代読」が一番多く44%だった。

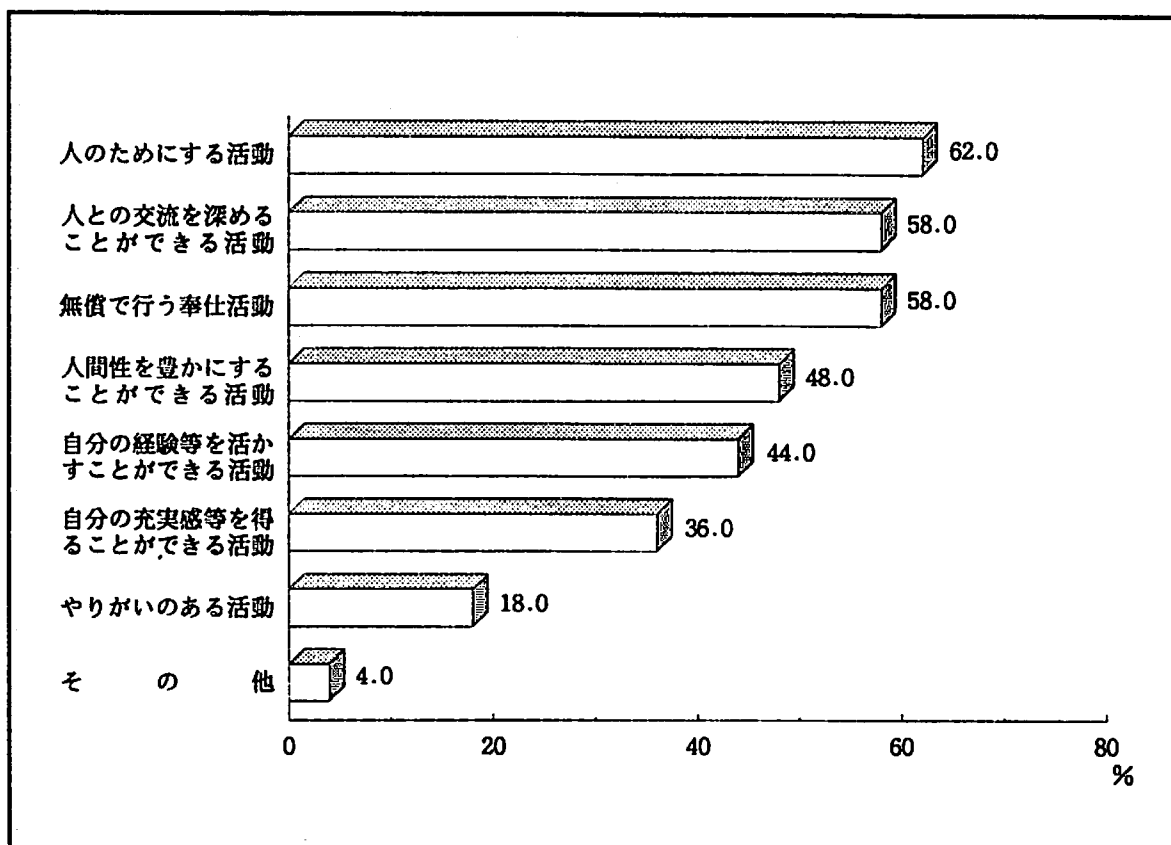
1日だけのボランティア活動（体験）があるとしたら参加してみたいかは、『参加したい（「参加したい」＋「どちらかといえば参加したい」）』が72%だった。

ボランティア活動に対しての評価は、『評価を行うべき（「積極的に評価を行うべき」＋「何らかの形で評価をすべき」）』が52%だった。

どのような形で評価を行うかは、「感謝状授与など社会的に賞賛する」が一番多く約62%だった。評価を行うべきでない理由は、「ボランティア活動は、見返りを求めるものではないから」が一番多く約56%だった。足立総合ボランティアセンターの周知度は、「知っていた」が34%だった。ボランティア活動について区に望むことは、「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」が一番多く60%だった。

1. ボランティア活動についてのイメージ

■ 「人のためにする活動」 62.0 %



ボランティア活動についてのイメージについて聞いたところ、「人のためにする活動」が一番多く62.0%だった。以下、「人との交流を深めることができる活動」と「無償で行う奉仕活動」がそれぞれ58.0%、「人間性を豊かにすることができる活動」が48.0%、「自分の経験等を活かすことができる活動」が44.0%、「自分の充実感等を得ることができる活動」が36.0%、「やりがいのある活動」が18.0%、「その他」が4.0%と続く。

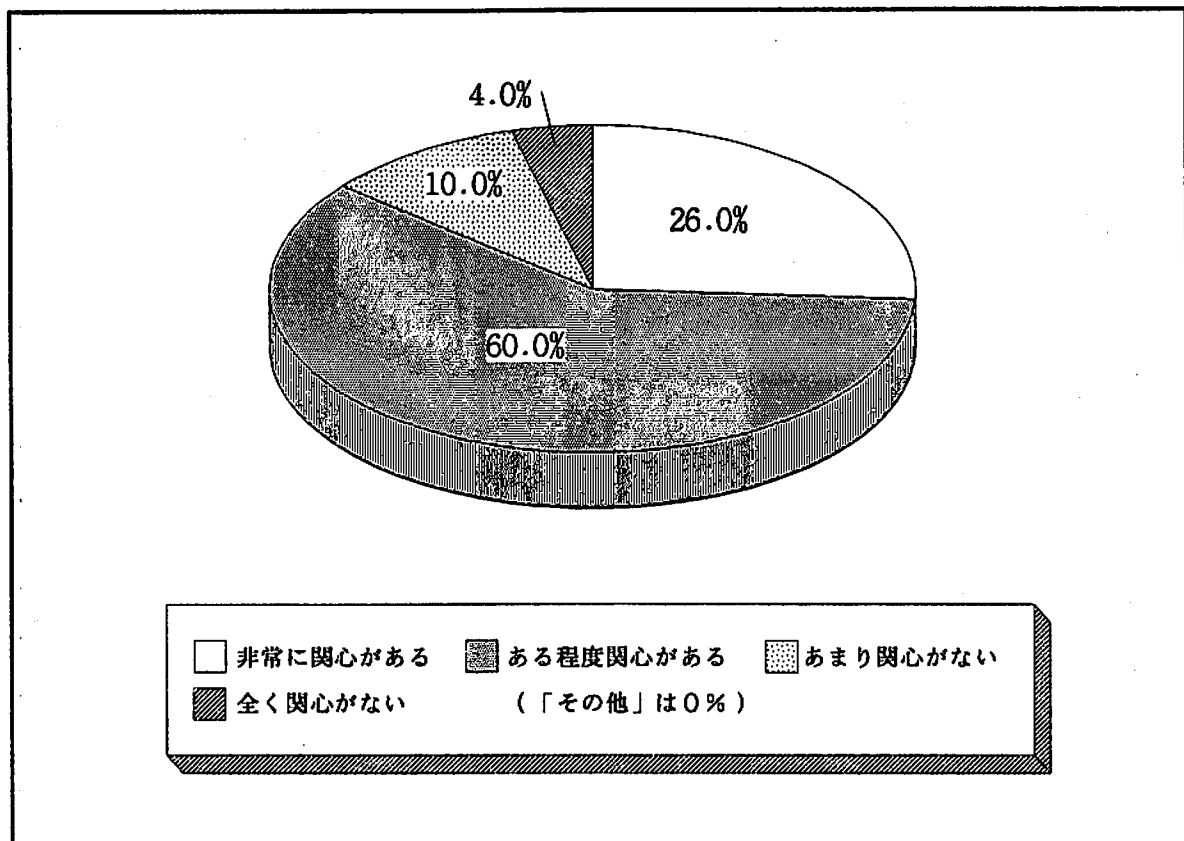
性別では、男性で最も多かったのは「人との交流を深めることができる活動」で73.3%、女性では「人のためにする活動」で62.9%だった。

年代別で見ると、40歳未満で最も多かったのは、「人との交流を深めることができる活動」と「無償で行う奉仕活動」でそれぞれ61.9%、40歳以上では「人のためにする活動」で69.0%だった。

その他の内容としては、「自分のため」などが、あげられている。

2. ボランティア活動に関心があるか

■ 『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』 86%



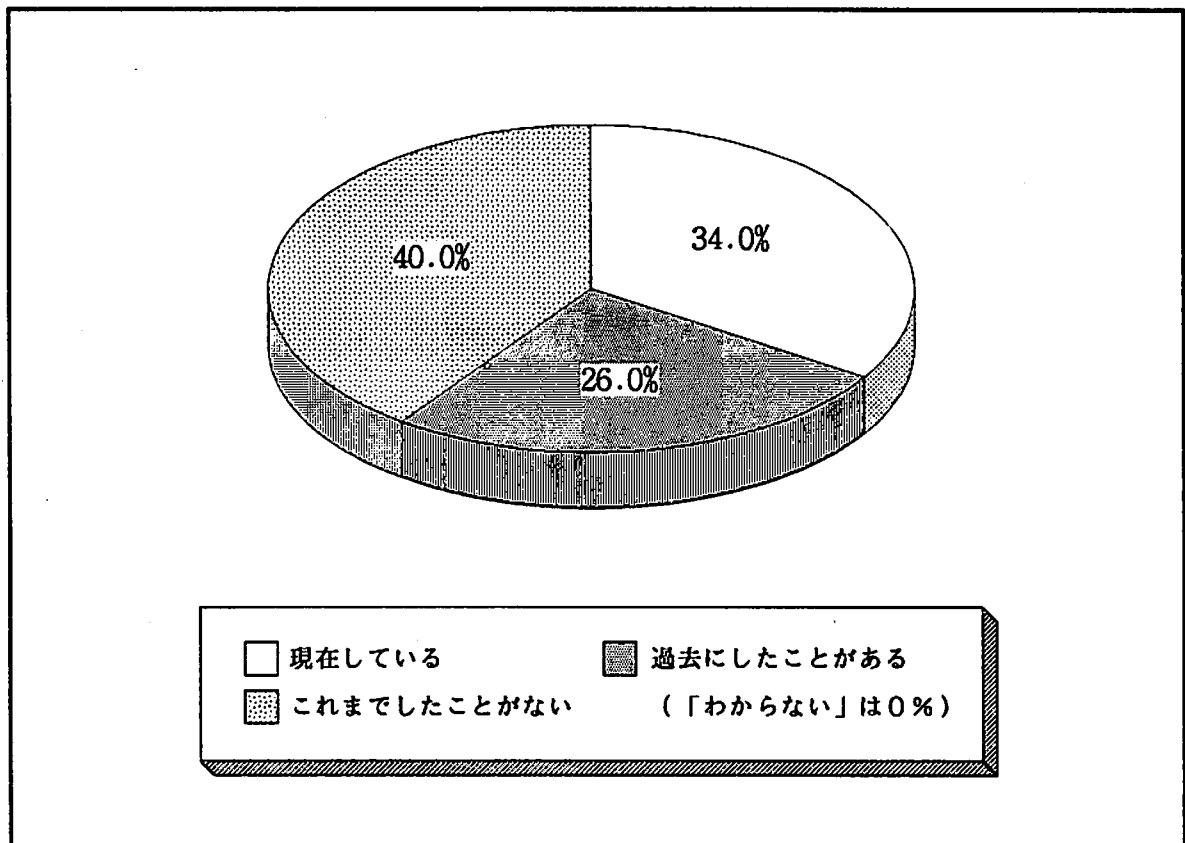
ボランティア活動に関心があるか聞いたところ、『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』が86.0%だった。

性別では、『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』と答えた人は、男性で100.0%、女性が80.0%で、男性のすべての人がボランティア活動に関心があると答えている。

年代別で見ると、『関心がある（「非常に関心がある」＋「ある程度関心がある」）』と答えた人は40歳未満が80.9%、40歳以上が、89.6%で、40歳以上の方が関心度が高かった。

3. ボランティア活動をしていますか（したことがあるか）

■ 「現在している」 34%



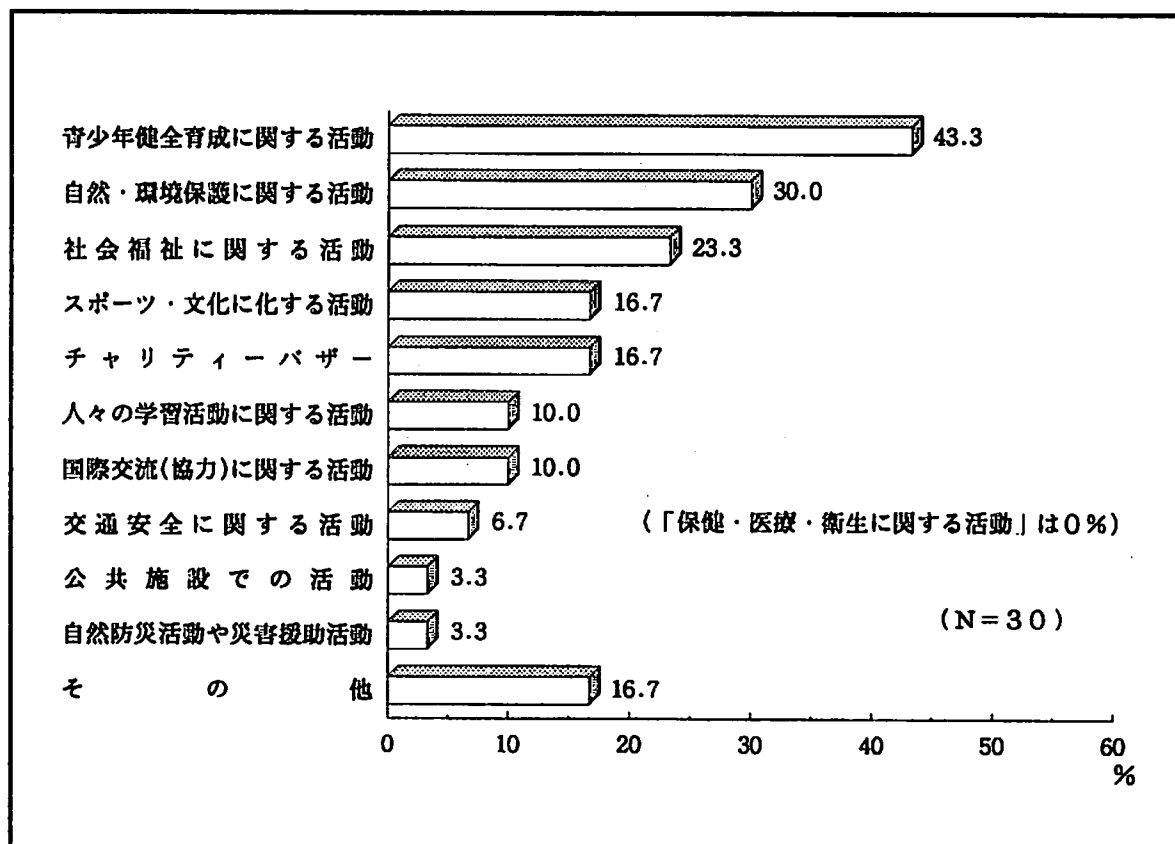
ボランティア活動をしていますか（したことがあるか）聞いたところ、「現在している」が34.0%。以下、「過去にしたことがある」が26.0%、「これまでしたことがない」が40.0%で、「わからない」を選んだ人はいなかった。

性別では、「現在している」＋「過去にしたことがある」と答えた人が男性93.4%とほとんどの人がボランティア経験があると答えたのに対して、女性では、「これまでしたことがない」と答えた人が54.3%いた。

年代別で見ると、「現在している」＋「過去にしたことがある」と答えた人は40歳未満で52.4%、40歳以上では65.5%で、40歳以上の方がボランティア経験が多かった。

3-1. どんなボランティア活動をしていますか（していましたか）

■ 「青少年健全育成に関する活動」 43.3 %



前問で「現在している」・「過去にしたことがある」を選択した人に、どんなボランティア活動をしているか（していましたか）聞いたところ、「青少年健全育成に関する活動」が43.3%で最も多く、以下、「自然・環境保護に関する活動」が30.0%、「社会福祉に関する活動」が23.3%、「スポーツ・文化に関する活動」と「チャリティーバザー」「その他」がそれぞれ16.7%、「人々の学習活動に関する活動」と「国際交流（協力）に関する活動」がそれぞれ10.0%、「交通安全に関する活動」が6.7%、「公共施設での活動」と「自然防災活動や災害援助活動」がそれぞれ3.3%と続き、「保健・医療・衛生に関する活動」を選んだ人はいなかった。

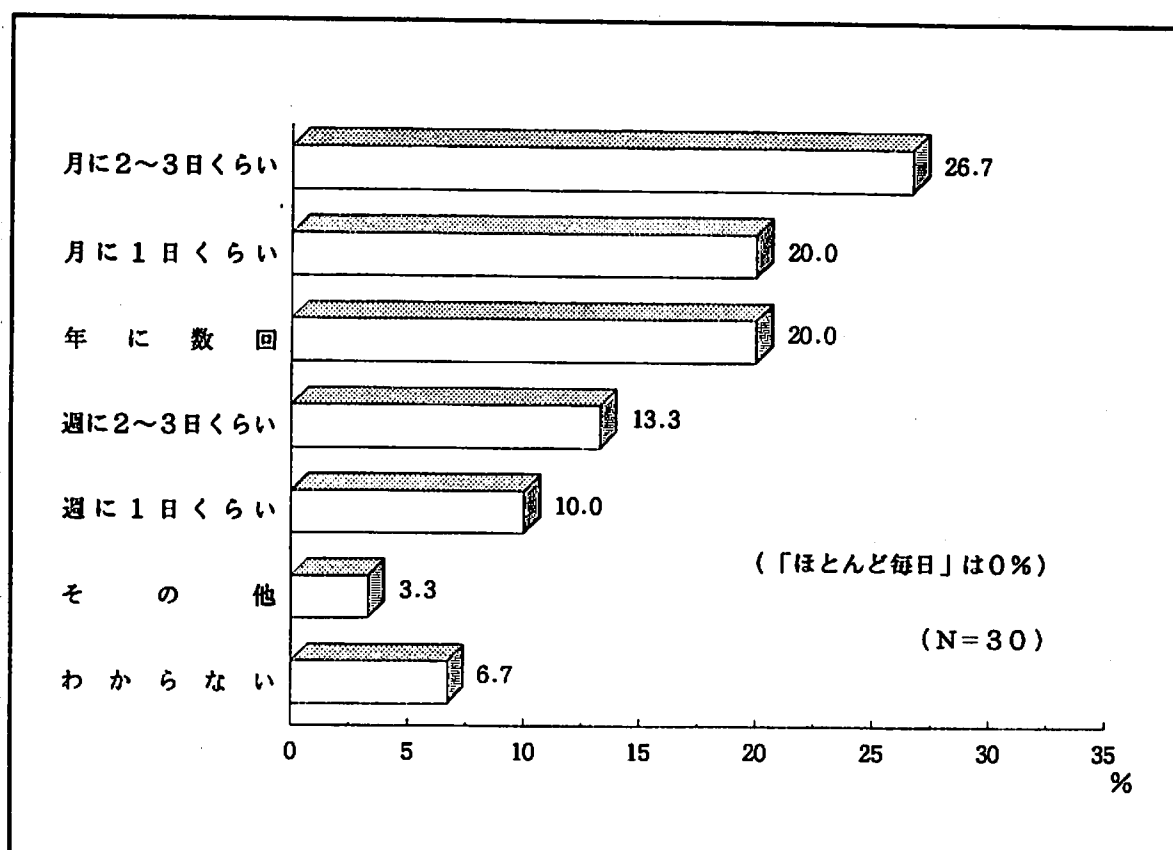
性別では、「青少年健全育成に関する活動」と答えた人は男性42.9%、女性43.8%で差はなかった。

年代別で見ると、40歳未満で最も多かったのは、「チャリティーバザー」で45.5%、40歳以上では「青少年健全育成に関する活動」で、47.4%だった。

その他の内容としては、「保護司」「補導員」などが、あげられている。

3-2. どのくらいの頻度で、ボランティア活動をしていますか（していましたか）

■ 「月に2～3日くらい」 27%



問3で「現在している」・「過去にしたことがある」を選択した人に、どのくらいの頻度でボランティア活動をしているか（していましたか）聞いたところ、「月に2～3日くらい」が最も多く26.7%だった。以下、「月に1日くらい」と「年に数回」がそれぞれ20.0%、「週に2～3日くらい」が13.3%、「週に1日くらい」が10.0%「わからない」が6.7%、「その他」が3.3%と続き、「ほとんど毎日」を選んだ人はいなかった。

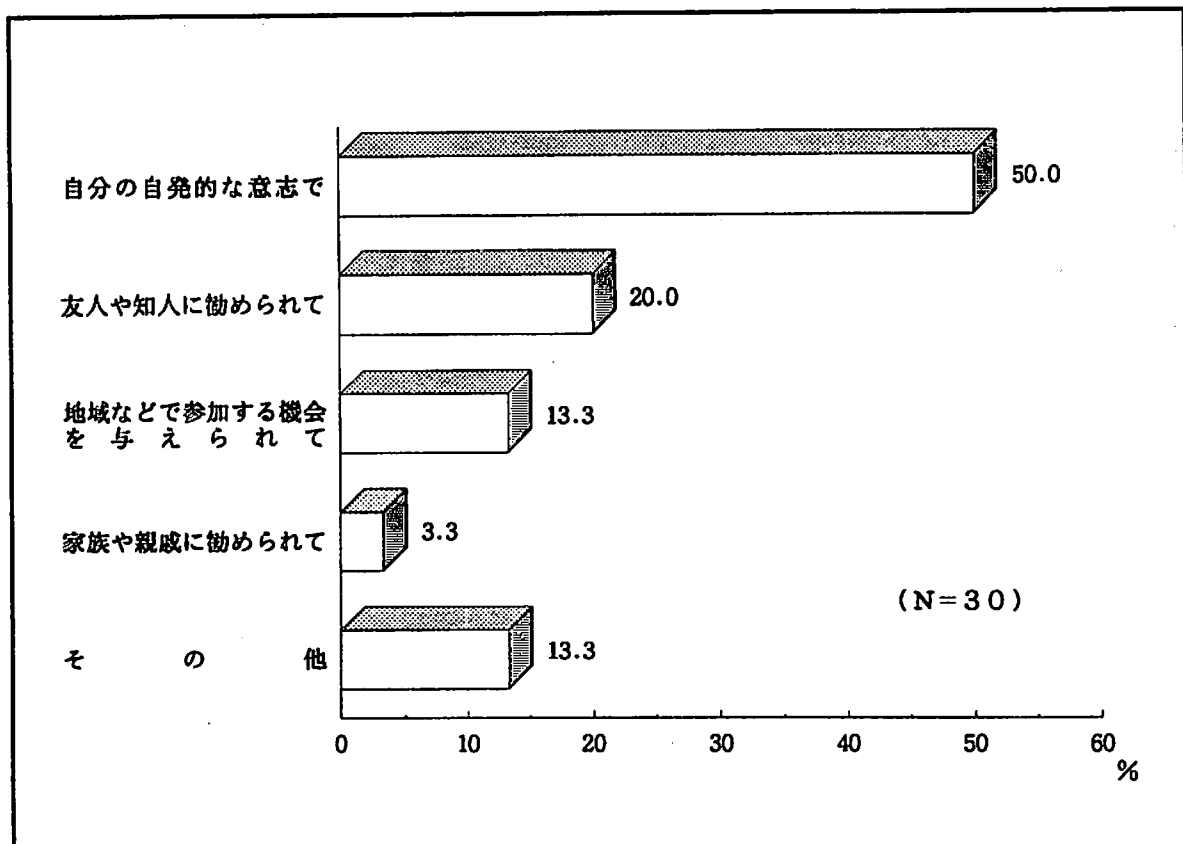
性別では、男性で最も多かったのは、「月に2～3日くらい」で42.9%、女性では「年に数回」で31.3%だった。

年代別で見ると、40歳未満で最も多かったのは、「月に1日くらい」と「年に数回」で27.3%、40歳以上では「月に2～3日くらい」で31.6%だった。

「その他」の内容としては、「1年間」などが、あげられている。

3-3. ボランティア活動を始めたきっかけは何か

■ 「自分の自発的な意志で」 50 %



問3で、「現在している」・「過去にしたことがある」を選択した人に、ボランティア活動を始めたきっかけは何か聞いたところ「自分の自発的な意思で」が50.0%で最も多く、以下、「友人や知人に勧められて」が20.0%、「地域などで参加する機会を与えられて」と「その他」がそれぞれ13.3%、「家族や親戚に勧められて」が3.3%と続いた。

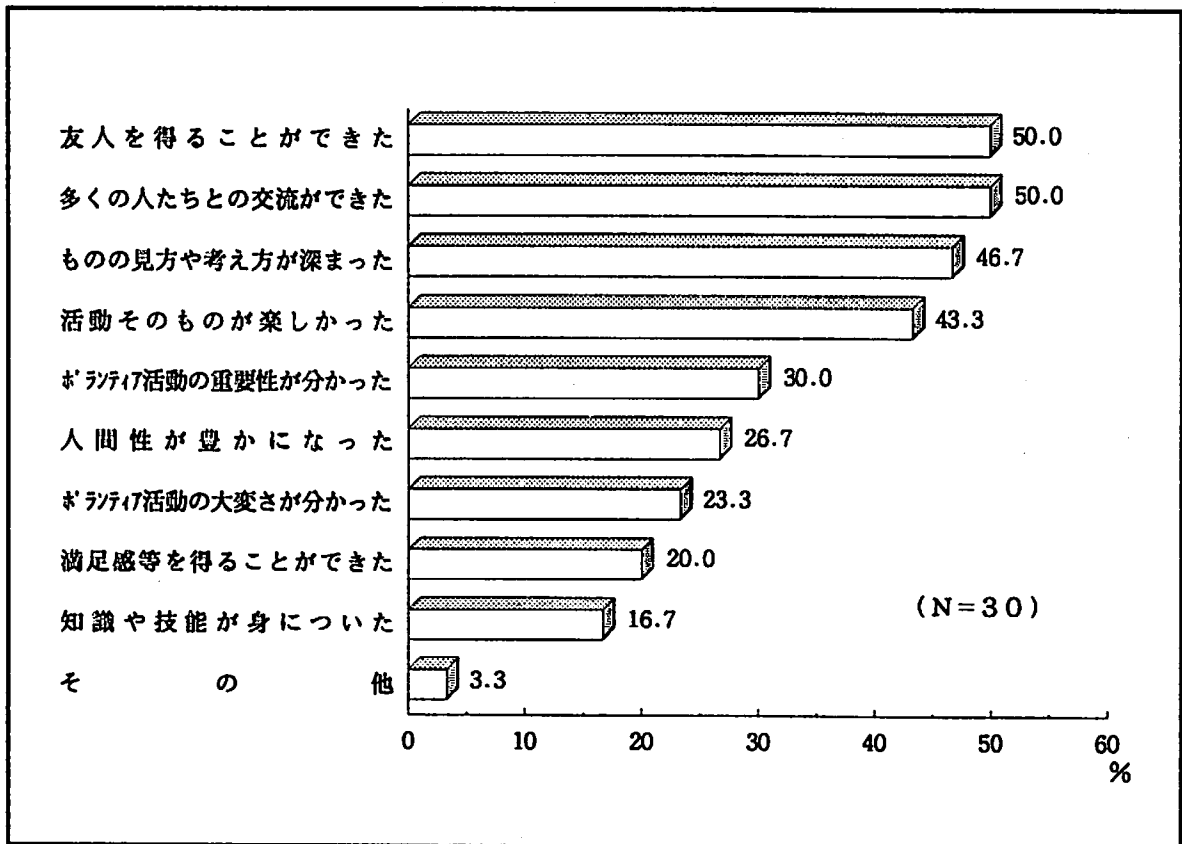
性別では、「自分の自発的な意思で」と答えた人は、男性42.9%、女性では56.3%で、女性の方が多かった。

年代別で見ると、「自分の自発的な意思で」と答えた人は、40歳未満で72.7%、40歳以上では36.8%で、40歳未満の方が多かった。

「その他」の内容については、「定年で」「福祉に世話になったので、恩返しがしたかった。」等であった。

3-4. ボランティア活動をして良かったと思うことはありましたか

■ 「友人を得ることができた」・「多くの人たちとの交流ができた」……………50%



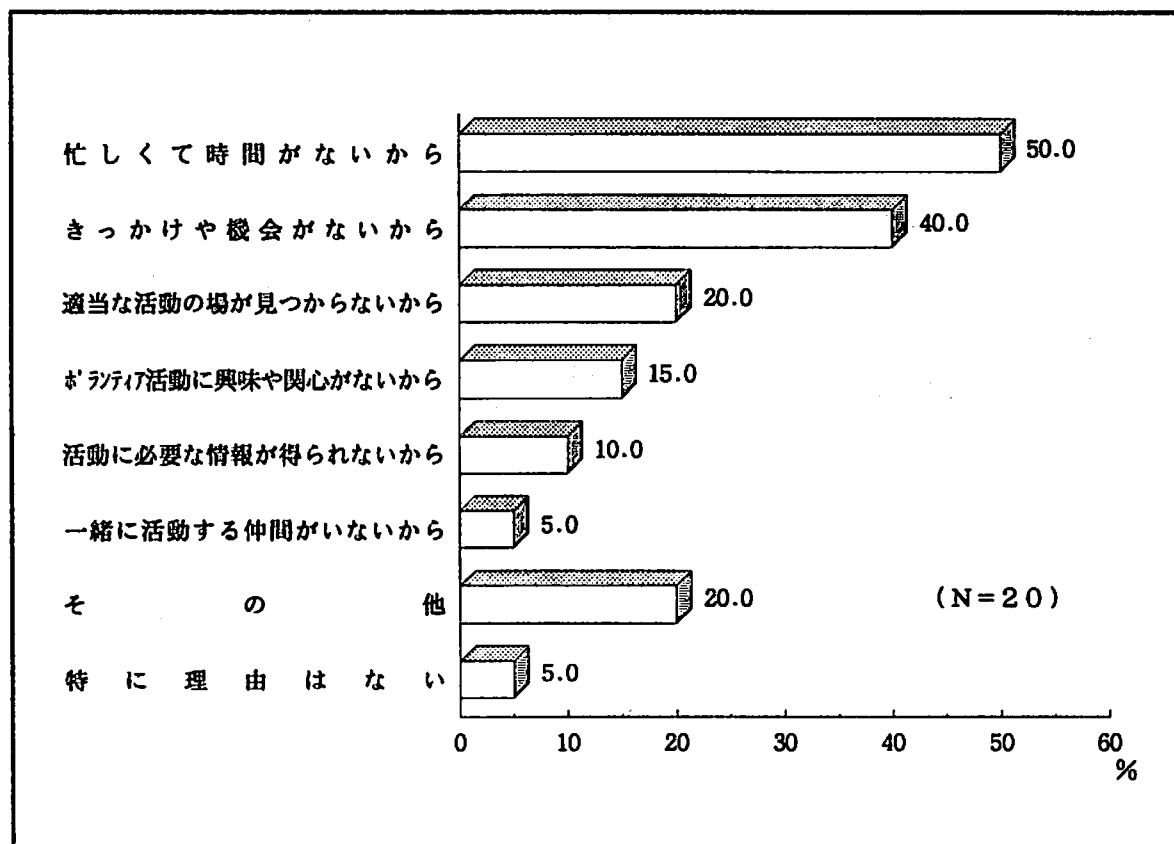
問3で「現在している」「過去にしたことがある」を選択した人に、ボランティア活動をして良かったと思うことはあるか聞いたところ、「友人を得ることができた」と「多くの人たちとの交流ができた」が最も多く50.0%、以下「ものの見方や考え方が深まった」が46.7%、「活動そのものが楽しかった」が43.3%、「ボランティア活動の重要性が分かった」が30.0%、「人間性が豊かになった」が26.7%、「ボランティア活動の大切さが分かった」が23.3%、「満足感等を得ることができた」が20.0%、「知識や技能が身についた」が16.7%、「その他」が3.3%と続く。

性別では、男性で最も多かったのは「多くの人たちとの交流ができた」で64.3%、女性では「友人を得ることができた」と「ものの見方や考え方が深まった」が、それぞれ50.0%だった。

年代別で見ると「友人を得ることができた」と「多くの人たちとの交流ができた」と答えた人は、40歳未満がそれぞれ54.5%、40歳以上が、47.4%で40歳未満が少し多かった。

3-5. ボランティア活動をしたことがなかったのはなぜか

■ 「忙しくて時間がないから」 50.0 %



問3で「これまでしたことがない」を選択した人に、ボランティア活動をしたことがなかったのはなぜか聞いたところ、「忙しくて時間がないから」が最も多く50.0%、以下「きっかけや機会がないから」が40.0%、「適当な活動の場が見つからないから」と「その他」がそれぞれ20.0%、「ボランティア活動に興味や関心がないから」が、15.0%、「活動に必要な情報が得られないから」が10.0%、「一緒に活動する仲間がないから」と「特に理由はない」がそれぞれ5.0%と続く。

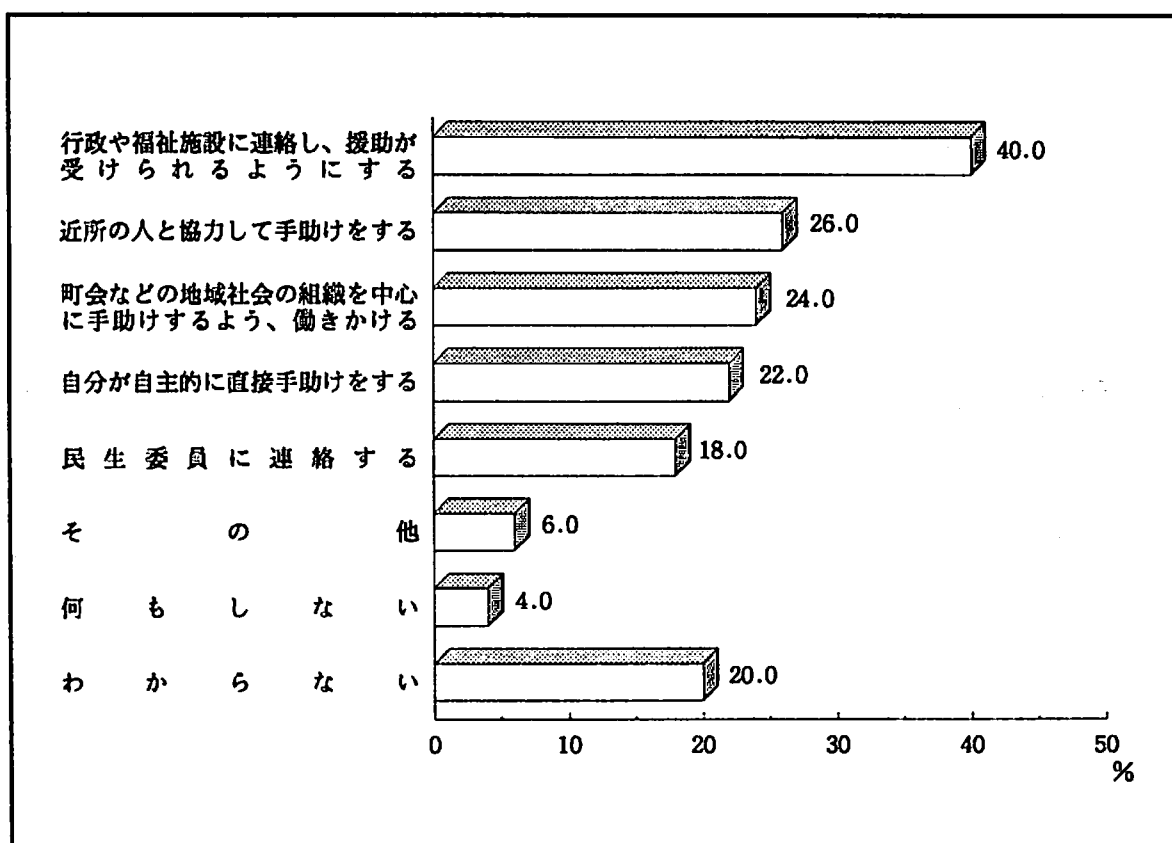
性別では、「忙しくて時間がないから」と答えた人は、男性100.0%、女性47.4%で、男性のすべてが、ボランティア活動をしなかった理由を「忙しくて時間がない」ことをあげ、他に理由を上げていない。

年代別で見ると「忙しくて時間がないから」と答えた人は、40歳未満が50.0%、40歳以上が50.0%で、差はなかった。

「その他」の内容については、「病気のため」等であった。

4. 近所に高齢者等がいたら、どのように関わると思いますか

■ 「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」 40%



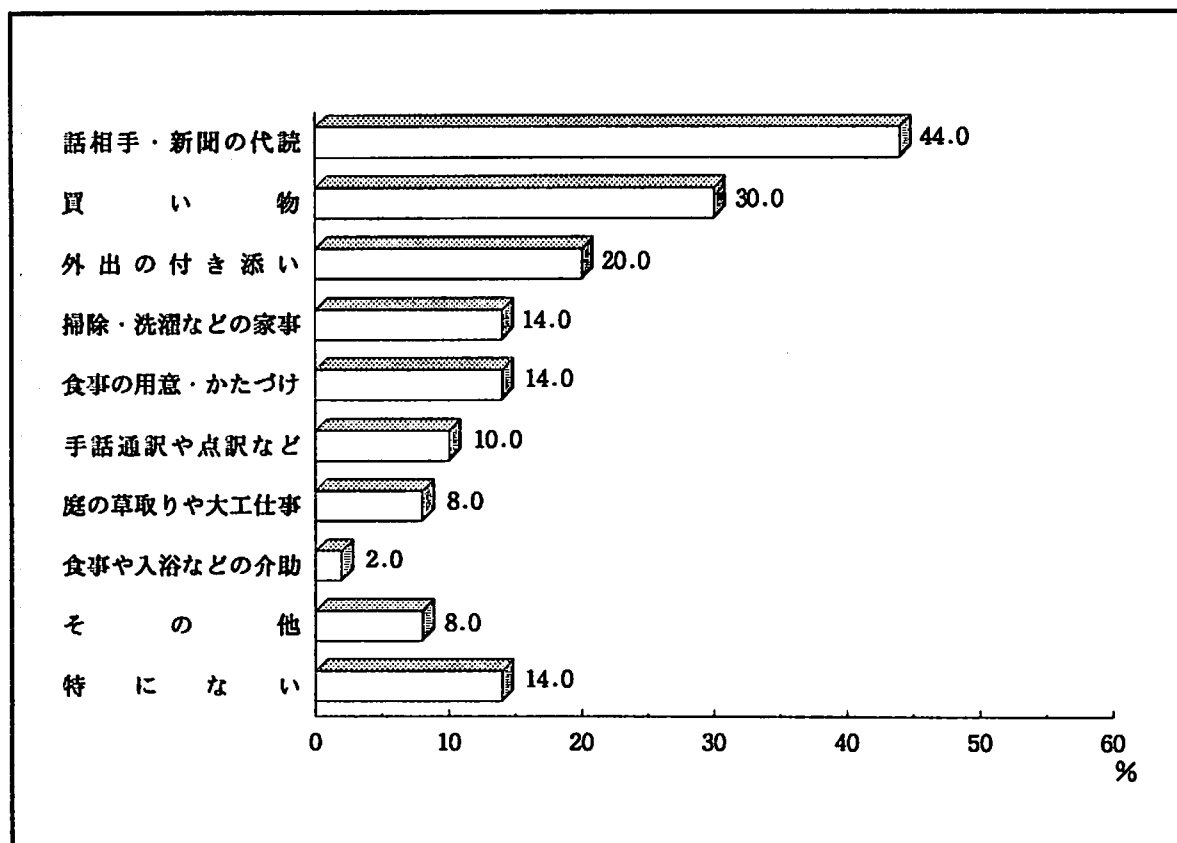
近所に高齢者等がいたら、どのように関わると思うか聞いたところ、「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」が最も多く40.0%、以下、「近所の人と協力して手助けをする」が26.0%、「町会などの地域社会の組織を中心に手助けするよう、働きかける」が24.0%、「自分が自主的に直接手助けをする」が22.0%、「わからない」が20.0%、「民生委員に連絡する」が18.0%、「その他」が6.0%、「何もしない」が4.0%と続いた。

性別では、男性で最も多かったのは「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」で60.0%、女性では「近所の人と協力して手助けをする」で34.3%だった。年代別で見ると40歳未満で最も多かったのは、「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」で42.9%、40歳未満では「町会などの地域社会の組織を中心に手助けするよう、働きかける」と「行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられるようにする」で37.9%だった。

「その他」の内容については、「自分の出来る範囲内で」等であった。

5. 高齢者等のために、協力できる（協力してみたい）と思うものは何か

■ 「話相手・新聞の代読」 44.0 %



高齢者等のために、協力できる（協力してみたい）と思うものは何か聞いたところ、「話相手・新聞の代読」が最も多く44.0%、以下「買い物」が30.0%、「外出の付き添い」が20.0%、「掃除・洗濯などの家事」と「食事の用意・かたづけ」「特にない」がそれぞれ14.0%、「手話通訳や点訳など」が10.0%、「庭の草取りや大工仕事」と「その他」が8.0%、「食事や入浴などの介助」が2.0%と続く。

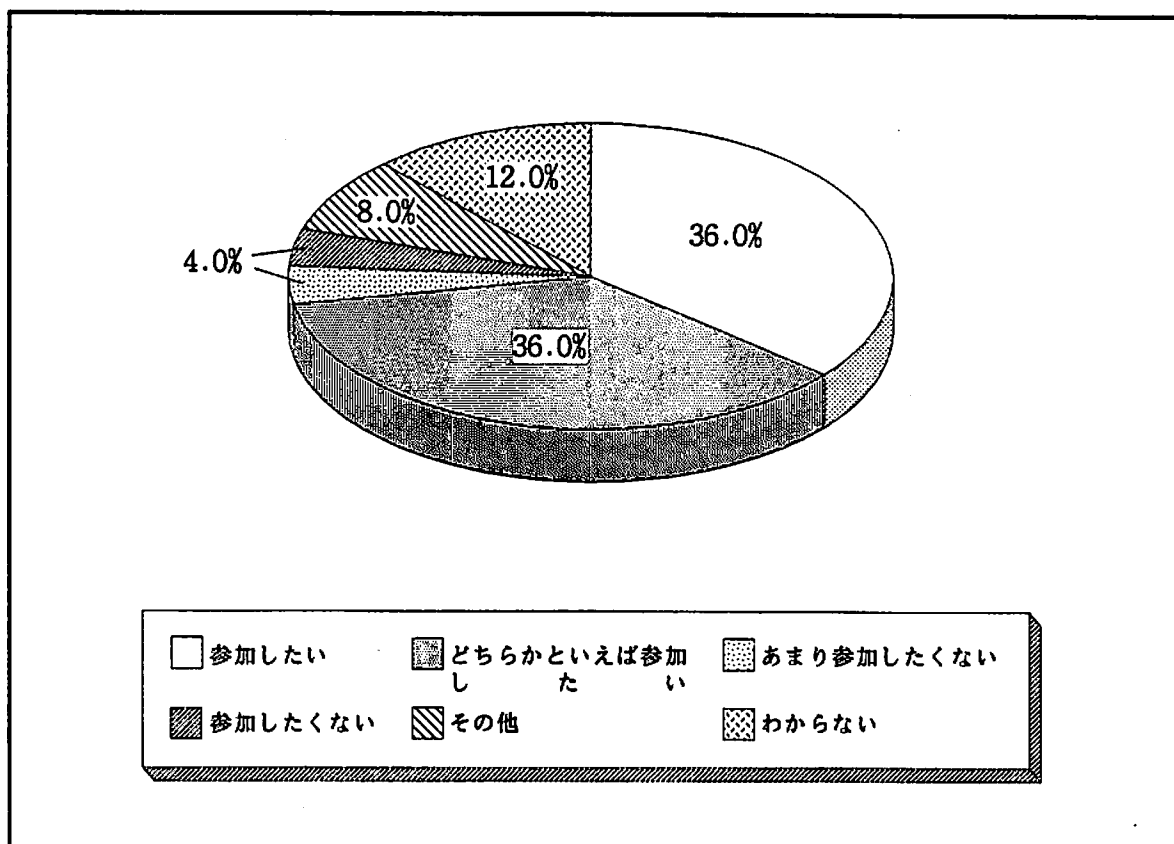
性別では、男性で最も多かったのは「外出の付き添い」で40.0%、女性では「話相手・新聞の代読」で48.6%だった。

年代別で見ると、「話相手・新聞の代読」と答えた人は、40歳未満で47.6%、40歳以上で41.4%で、40歳未満の方が少し多かった。

「その他」の内容については、「毎日の安全確認」「手紙の代筆」等であった。

6. 1日だけのボランティア活動があるとしたら、参加してみたいと思うか

■ 『参加したい（「参加したい」＋「どちらかといえば参加したい」）』……72%



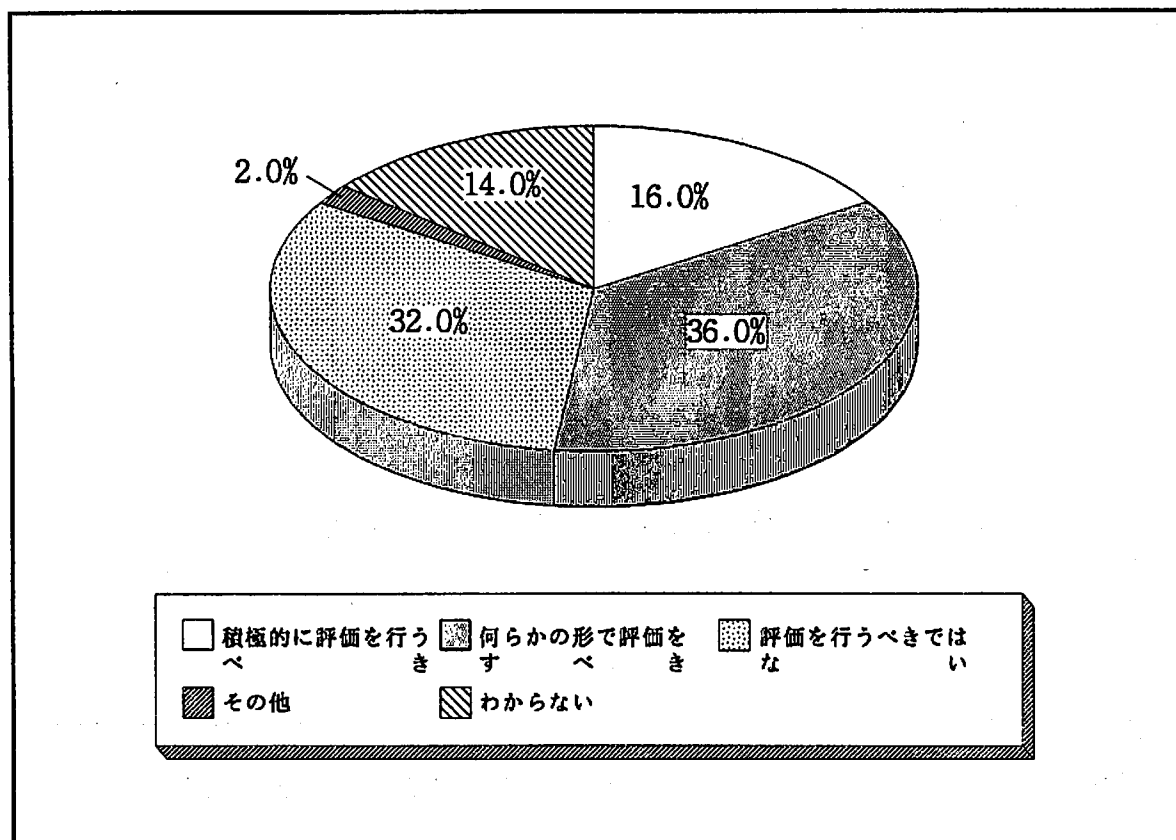
1日だけのボランティア活動があるとしたら、参加してみたいと思うか聞いたところ、『参加したい（「参加したい」＋「どちらかといえば参加したい」）』が72.0%と大部分の人が参加してみたいと答えた。

性別では、『参加したい（「参加したい」＋「どちらかといえば参加したい」）』が、男性86.7%、女性で65.7%で男性の方が多かった。

年代別では、『参加したい（「参加したい」＋「どちらかといえば参加したい」）』が、40歳未満で61.9%、40歳以上では79.3%で、40歳以上の方が多かった。

7. ボランティア活動の経験やその結果を入学試験や官公庁・企業などの採用・昇任時における評価の1つにすることに對してどのように思いますか

- 『評価を行うべき（「積極的に評価を行うべき」＋「何らかの形で評価をすべき」）』
 52.0%



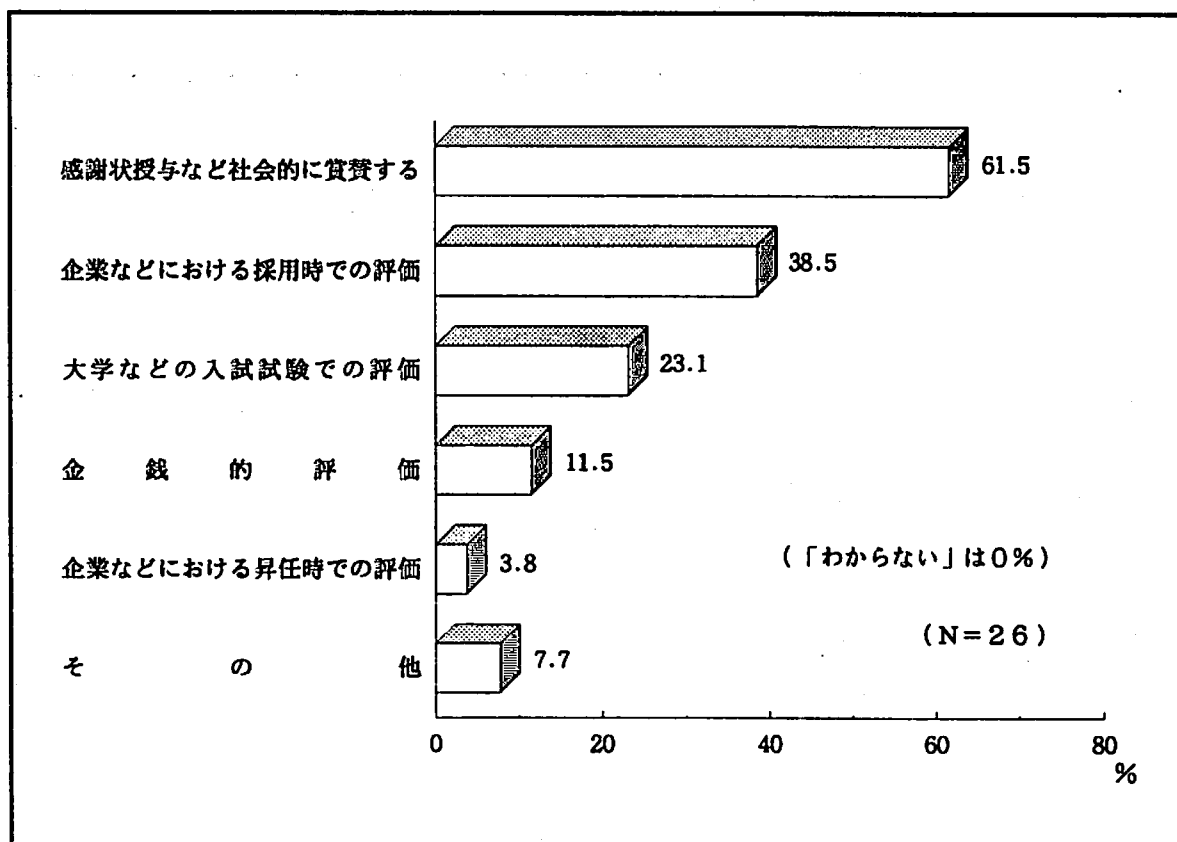
ボランティア活動の経験やその結果を入学試験や官公庁・企業などの採用・昇任時における評価の1つにすることに對してどのように思いますか聞いたところ、『評価を行うべき（「積極的に評価を行うべき」＋「何らかの形で評価をすべき」）』が52.0%と、半分の人が『評価を行うべき』と考えている。

性別では、『評価を行うべき（「積極的に評価を行うべき」＋「何らかの形で評価をすべき」）』は男性66.7%、女性45.7%で、男性の方が多かった。

年代別では、『評価を行うべき（「積極的に評価を行うべき」＋「何らかの形で評価をすべき」）』は40歳未満で47.6%、40歳以上で55.1%で、40歳以上の方が少し多かった。また、一方で「評価を行うべきではない」と答えた人が、40歳未満で42.9%いるのが目立った。

7-1. どのような形で評価を行うのが良いと思いますか

■ 「感謝状授与など社会的に賞賛する」 62 %



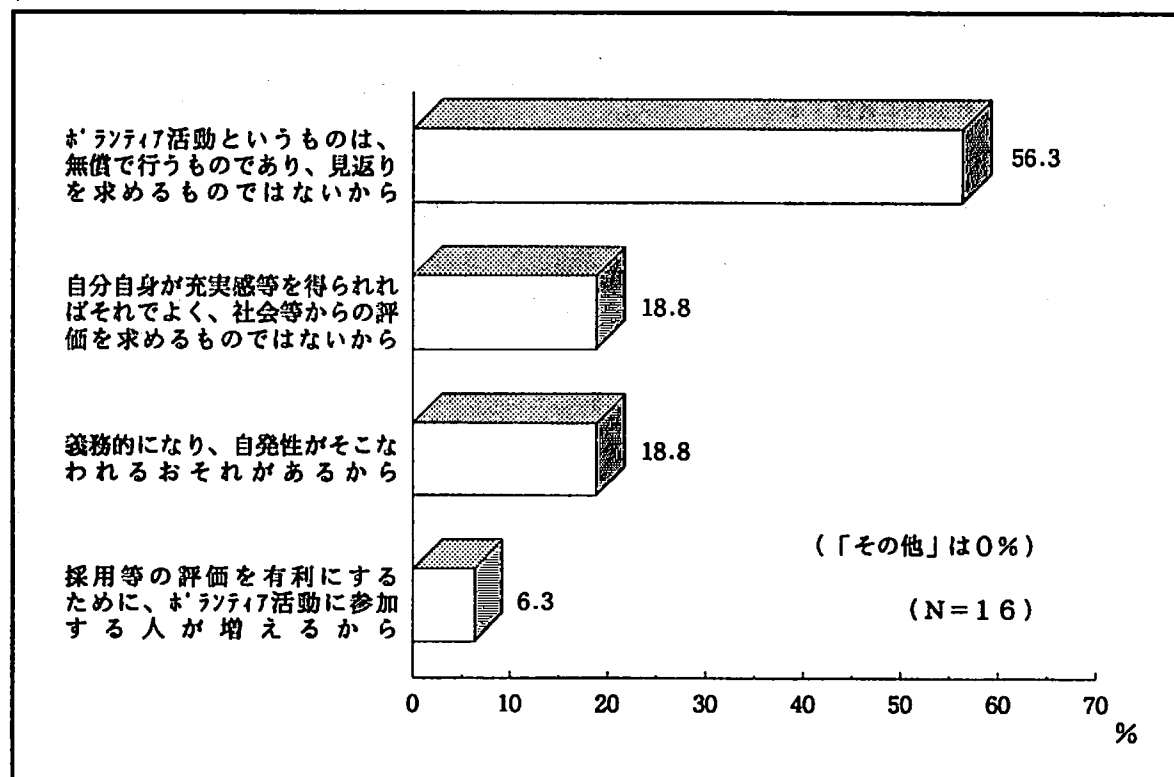
前問で、「積極的に評価を行うべき」「何らかの形で評価をすべき」を選択した人に、どのような形で評価を行うのが良いと思うか聞いたところ、「感謝状授与など社会的に賞賛する」が61.5%で最も多く、以下、「企業などにおける採用時での評価」が38.5%、「大学などの入学試験での評価」が23.1%、「金銭的評価」が11.5%、「その他」が7.7%、「企業などにおける昇任時での評価」が3.8%と続く。「わからない」を選んだ人はいなかった。

性別では、「感謝状授与など社会的に賞賛する」と答えた人は、男性80.0%、女性50.0%で、男性の方が多かった。

年代別で見ると、「感謝状授与など社会的に賞賛する」と答えた人は、40歳未満では50.0%、40歳以上では68.8%で、40歳以上の方が多かった。

7-2. 評価を行うべきではないと思うのはどうしてですか

- 「ボランティア活動というものは、無償で行うものであり、見返りを求めるものではないから」……………56.3%



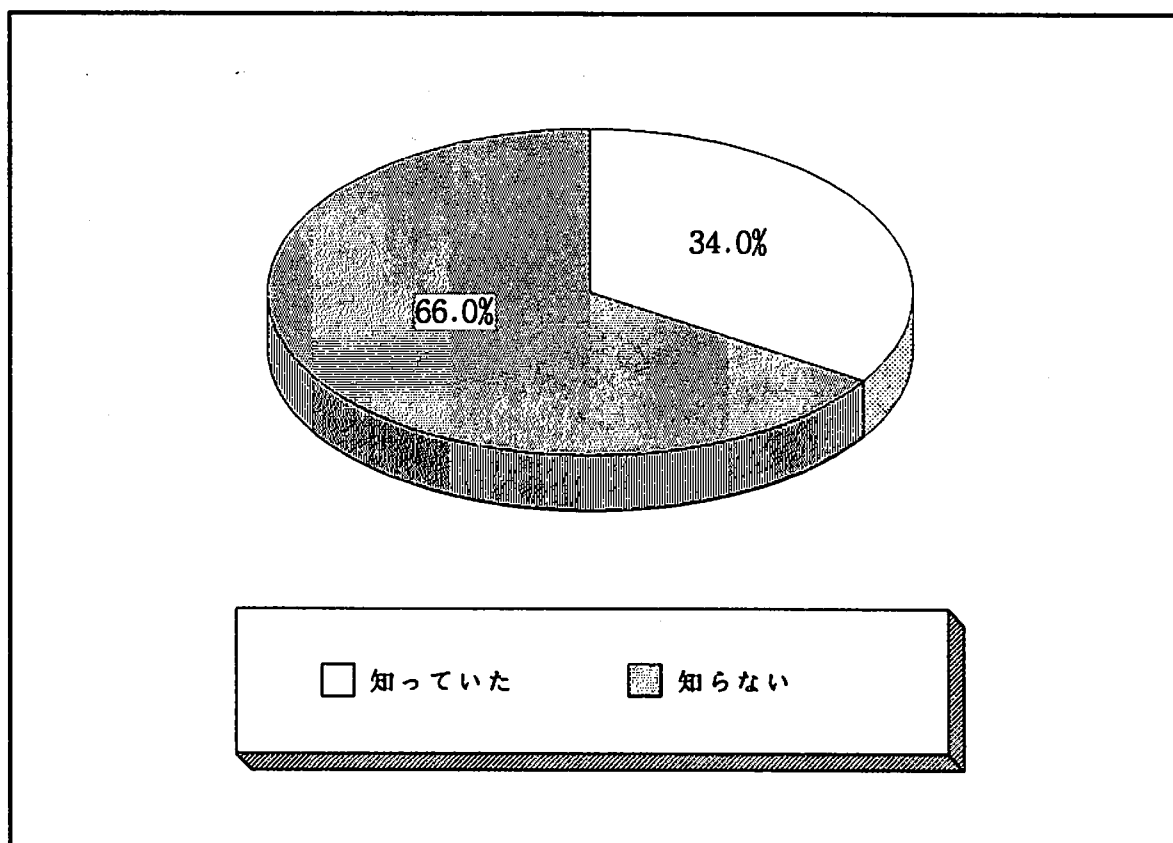
問7で、「評価を行うべきでない」を選択した人に、評価を行うべきではないと思うのはどうしてか聞いたところ「ボランティア活動というものは、無償で行うものであり、見返りを求めるものではないから」が56.3%で最も多く、以下、「自分自身が充実感等を得られればそれでよく社会等からの評価を求めるものではないから」と「義務的になり、自発性がそこなわれるおそれがあるから」がそれぞれ18.8%、「採用等の評価を有利にするために、ボランティア活動に参加する人が増えるから」が6.3%と続く。「その他」を選んだ人はいなかった。

性別では、「ボランティア活動というものは、無償で行うものであり、見返りを求めるものではないから」と答えた人は、男性100.0%、女性41.7%で、男性のすべての人が「ボランティア活動は、見返りを求めるものではない」と考えている。

年代別で見ると、「ボランティア活動というものは、無償で行うものであり、見返りを求めるものではないから」と答えた人は、40歳未満では44.4%、40歳以上では、71.4%で40歳以上の方が多かった。

8. 「足立区ボランティアセンター」が設立したことを、知っていたか

■ 「知っていた」 34%



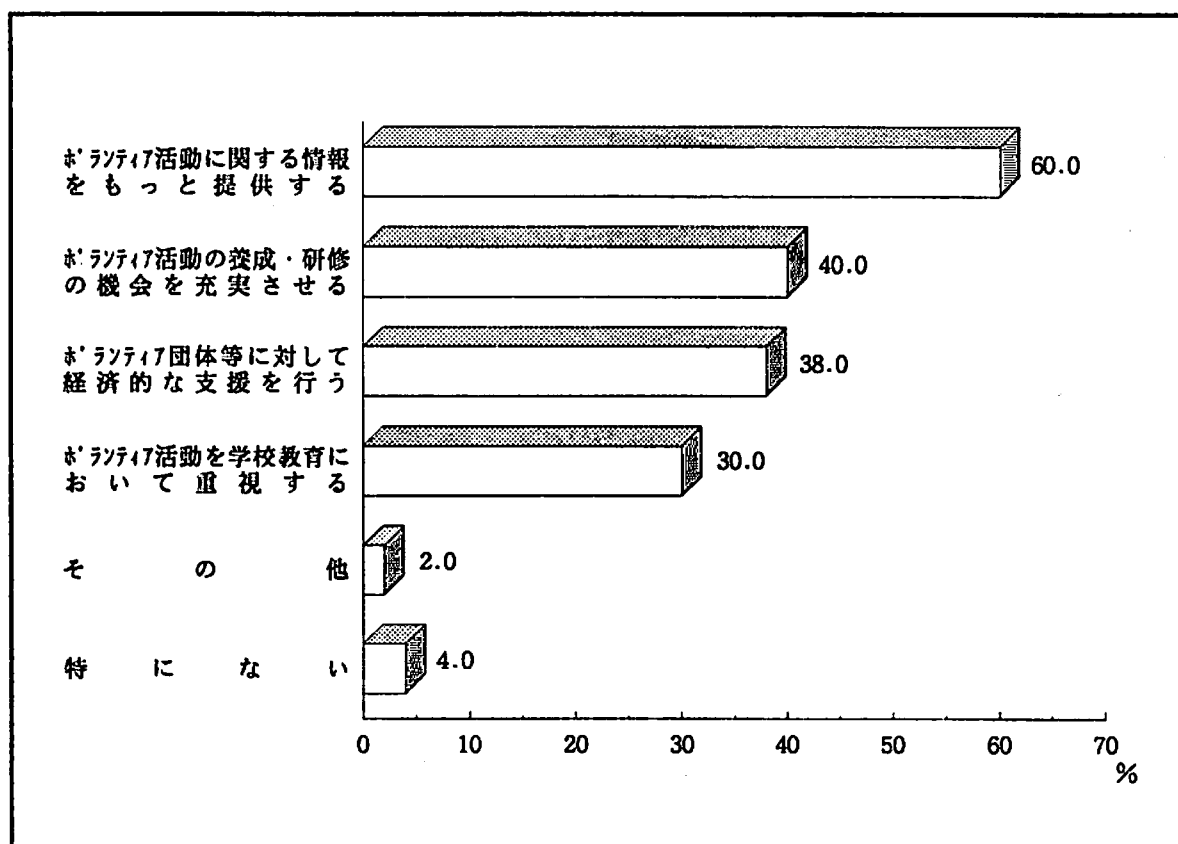
「足立区ボランティアセンター」が設立したことを、知っていたか聞いたところ、「知っていた」が34.0%、「知らない」が66.0%だった。

性別では、「知っている」と答えた人は、男性46.7%、女性28.6%で男性の方が周知度が高かった。

年代別では、「知っている」と答えた人は、40歳未満では42.9%、40歳以上では27.6%で、40歳未満の方が周知度が高かった。

9. 今後ボランティア活動について、足立区にどのようなことを望むか

■ 「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」 60%



今後ボランティア活動について、足立区にどのようなことを望むか聞いたところ、「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」が最も多く60.0%、以下、「ボランティア活動の養成・研修の機会を充実させる」が40.0%、「ボランティア団体等に対して経済的な支援を行う」が38.0%、「ボランティア活動を学校教育において重視する」が30.0%、「特にない」が4.0%、「その他」が2.0%と続いた。

性別では、「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」が男女とも60.0%だった。

年代別では、「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」は40歳未満で、57.1%、40歳以上で62.1%で、40歳未満の方が少し多かった。

10. ボランティア活動についての意見や要望等【自由回答】（主な意見の要旨）

- ボランティア活動についての講演会や講座等を開催して広く区民に関心を持たせると共に、参加できる機会を広報したら良いと思います。（70代 男性）
- ボランティアは社会的に必要な制度です。自己育成確立のため及び利己的な満足感を得るためだけでなく、自然的なものとして「あたりまえ」になっていくことが望ましいと思っています。（30代 女性）
- ボランティアというのは、本来奉仕であるので何かを期待したり、ましてその活動に対して表彰したりするのは、本来の意味をとり違えていると思います。心から、他人のために何かをしてあげたいという気持ちを大切にしたいと思っています。そして、される側も心の甘えを捨て、より良い関係が保てるようになればいいと思います。（30代 女性）
- 義務ではなく、自発的に何かをする事は大切だと思います。小学校ぐらいから自然に、お年寄りや障害者のために何かできる心の育成を望みます。（30代 女性）
- ボランティア活動は幼児の時から身につけることを提案します。週休2日制の1日、又は夏休み中、ボランティア参加の日を定め年齢別に自分が何が出来るか、先ずは参加してもらい、少しずつボランティア活動を身につけていくべきだと思います。（50代 女性）
- 手話や点字を学んでみたいと思っても、機会がなかったり、多額の受講料がかかったりします。区の講座は無料又は少額ですが、昼間行われるため、仕事をしている者には受講が不可能です。（20代 女性）
- 活動をしてみたいと思っている人も多いと思います。もっと情報を区の広報などで提供してもらいたいし、同時に手話教室、ヘルパー養成（介護）教室など機会を増やしてもらいたい。（30代 女性）
- 今の世の中、自分から進んでボランティア活動に参加する人が少ないと思います。毎日の忙しい中、小さなことでも、何かひとつでも、人のためにできることがたくさんあると思います。何かをやってみようと思う気持ちが大切だと思います。（30代 女性）

- これからの少子社会、高齢社会を考えると、ボランティアに関して気軽に問い合わせが出来る体制が必要だと思います。また、ボランティアに伴うトラブルもいろいろあると聞きます。相談・支援・研修のしっかりした体制作りも責任ある機関が行う必要があると思います。(30代 女性)
- 本来、ボランティア活動は、人間である以上、どのような人にもその資質は備わっていると信じております。ただ、その人が自覚し得る内面の事柄であるだけに、常に、問題意識を持ち、積極的に社会に働きかけていくことが必要であると思います。(60代 男性)
- 学校での、ゆとりの時間にボランティア活動を取り入れるようにしたらいいと思います。(20代 女性)
- ボランティアは、やはり誰かからほめられたり、評価されるためにすることではないと思います。それを評価しようというのはボランティア活動を本当にしたことのない人達の考えだと思います。(20代 女性)

平成6年度第3回区政モニターアンケート

《ボランティア活動について》

氏 名

問1. あなたは、ボランティア活動について、どのようなイメージをお持ちですか。
(いくつでも)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. 使命感を伴うやりがいのある活動 | 5. 人間性を豊かにすることができる活動 |
| 2. 世の中や人のためにする活動 | 6. 多くの人との交流を深めることができ
る活動 |
| 3. 自分の経験や知識・技能を活かす
ことができる活動 | 7. 無償で行う奉仕活動 |
| 4. 自分の充実感、満足感を得ること
ができる活動 | 8. その他 () |

問2. 自分の本来の仕事とは別に、地域や社会のために時間や労力、技術などを提供する奉仕活動を「ボランティア活動」と言いますが、あなたはボランティア活動に関心がありますか。
(1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 4. 全く関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 5. その他 () |
| 3. あまり関心がない | |

問3. あなたは、ボランティア活動を、現在していますか。あるいは、過去にすることがありますか。(1つだけ)

1. 現在している→(問3-1以降へ)
2. 過去にしたことがある→(問3-1以降へ)
3. これまでにしたことはない→(問3-5以降へ)
4. わからない→(問4以降へ)

問3-1. 問3の回答欄で「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」を選んだ人にお聞きします。あなたは、どんなボランティア活動をしていますか。(していましたか。)
(いくつでも)

1. 公共施設での活動(博物館の展示説明員等)
2. 青少年健全育成に関する活動(ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など)
3. スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・レクリエーション指導、学校のクラブ活動における指導)
4. 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(英語、書道等)
5. 自然・環境保護に関する活動(環境美化、リサイクル活動、牛乳パックの回収等)
6. 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民救助、留学生援助等)
7. 社会福祉に関する活動(老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話等)
8. 交通安全に関する活動(子どもの登下校時の安全監視など)
9. 自主防災活動や災害援助活動
10. 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティアなど)
11. チャリティーバザー
12. その他 ()

【裏面へ】

問3-2. 問3の回答欄で「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」を選んだ人にお聞きします。あなたは、どのくらいの頻度で、ボランティア活動をしていますか。（していましたか。）（1つだけ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 5. 月に2～3日くらい |
| 2. 週に1日くらい | 6. 年に数回 |
| 3. 週に2～3日くらい | 7. その他 |
| 4. 月に1日くらい | 8. わからない |

問3-3. 問3の回答欄で「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」を選んだ人にお聞きします。あなたが、ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。（1つだけ）

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 自分の自発的な意志で | 4. 地域、職場などで参加する機会を与えられて |
| 2. 家族や親戚に勧められて | |
| 3. 友人や知人に勧められて | 5. その他（ ） |

問3-4. 問3の回答欄で「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」を選んだ人にお聞きします。あなたが、ボランティア活動をして良かったと思うことはありましたか。（いくつでも）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 友人を得ることができた | 6. ものの見方や考え方が深まった |
| 2. 満足感や充実感を得ることができた | 7. 多くの人たちとの交流ができた |
| 3. 知識や技能が身についた | 8. ボランティア活動の重要性が分かった |
| 4. 人間性が豊かになった | 9. ボランティア活動の大変さが分かった |
| 5. 活動そのものが楽しかった | 10. その他（ ） |

問3-5. 問3の回答欄で「3. これまでにしたことはない」を選んだ人にお聞きします。あなたが、これまでボランティア活動をしたことがなかったのはなぜですか。（いくつでも）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 忙しくて時間がないから | 5. きっかけや機会がないから |
| 2. 一緒に活動する仲間がいないから | 6. ボランティア活動に興味や関心がないから |
| 3. 活動に必要な情報が得られないから | 7. その他（ ） |
| 4. 適当な活動の場が見つからないから | 8. 特に理由はない |

問4. もし、あなたの近所に他人の手助けを必要とする高齢者や障害者などがいるとしたら、あなたはその人にどのように関わると思いますか。（2つまで）

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. 自分が自主的に直接手助けをする | 5. 行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられようにする |
| 2. 近所の人と協力して手助けをする | 6. その他（ ） |
| 3. 町会などの地域社会の組織を中心に手助けするよう、働きかける | 7. 何もしない |
| 4. 民生委員に連絡する | 8. わからない |

問5. 他人の手助けを必要とする高齢者や障害者のために、あなたが協力できる（協力してみたい）と思うものは、何ですか。（2つまで）

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 話相手・新聞などの代読 | 6. 手話通訳や点訳など |
| 2. 買い物 | 7. 外出の付き添い |
| 3. 掃除・洗濯などの家事 | 8. 庭の草取りや簡単な大工仕事 |
| 4. 食事の用意・かたづけ | 9. その他（ ） |
| 5. 食事や入浴などの介助 | 10. 特にない |

問6. では、あなたができるようなことで、1日だけのボランティア活動（体験）があるとしたら、参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 参加したい | 4. 参加したくない |
| 2. どちらかといえば参加したい | 5. その他（ ） |
| 3. あまり参加したくない | 6. わからない |

問7. 長年ボランティア活動をしている人を表彰したり、ボランティア活動の経験やその結果を入学試験や官公庁・企業などの採用・昇任時における評価の1つにすることに対してどのように思いますか。（1つだけ）

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 積極的に評価を行うべき→（問7-1へ） | 4. その他（ ） |
| 2. 何らかの形で評価をすべき→（問7-1へ） | 5. わからない |
| 3. 評価を行うべきではない→（問7-2へ） | |

問7-1. 問7の回答欄で「1. 積極的に評価を行うべき」「2. 何らかの形で評価をすべき」を選んだ人にお聞きします。では、どのような形で評価を行うのがよいと思いますか。（2つまで）

1. 官公庁や企業などにおける採用時での評価
2. 官公庁や企業などにおける昇任時での評価
3. 大学や高校などの入学試験での評価
4. 感謝状の授与など、社会的に賞賛すること
5. 金銭的評価
6. その他（ ）
7. わからない

問7-2. 問7の回答欄で「3. 評価を行うべきでない」を選んだ人にお聞きします。では、評価を行うべきではないと思うのはどうしてでしょうか。（1つだけ）

1. ボランティア活動は、自分自身が充実感や満足感を得られればそれでよく、他人や社会からの評価を求めるものではないから
2. ボランティア活動が義務的になり、自発性がそこなわれるおそれがあるから
3. 入学試験や採用・昇任での評価を有利にするために、ボランティア活動に参加する人が増えるから
4. そもそも、ボランティア活動というものは、無償で行うものであり、見返りを求めるものではないから
5. その他（ ）

問8. 平成6年4月に、足立区ではボランティア活動の拠点として「西綾瀬」「新田」に続いて「足立区総合ボランティアセンター」を日の出町に設立しましたが、あなたはこのことを知っていましたか。（1つだけ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

【裏面へ】

問9. 今後あなたは、ボランティア活動について、足立区にどのようなことを望みますか。
(2つまで)

1. ボランティア活動を学校教育において重視する
2. ボランティア活動に関するいろいろな情報をもっと提供する
3. ボランティアの養成・研修の機会を充実させる
4. ボランティア団体・グループに対して経済的な支援を行う
5. その他 ()
6. 特にない

問10. ボランティア活動について、意見や要望等がありましたら記入してください。
(自由回答)

ご協力ありがとうございました
企画部広報課広聴相談係

【 連 絡 会 に つ い て 】

1. 平成7年2月3日(金)に開催する連絡会に

(1) 出席する

(2) 欠席する

2. 保育を希望される方は、お子さんの名前・年齢・性別を下記にお書きください。

氏名：

年齢： 歳 性別： (1) 男 (2) 女

集 計 表

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	50	15	35	21	29
問1. ボランティア活動についてのイメージ。(複数回答) N=50					
1. やりがいのある活動	18.0	26.7	14.3	9.5	24.1
2. 人のためにする活動	62.0	60.0	62.9	52.4	69.0
3. 自分の経験等を活かすことができる活動	44.0	40.0	45.7	33.3	51.7
4. 自分の充実感等を得ることができる活動	36.0	40.0	34.3	42.9	31.0
5. 人間性豊かにすることができる活動	48.0	46.7	48.6	47.6	48.3
6. 人との交流を深めることができる活動	58.0	73.3	51.4	61.9	55.2
7. 無償で行う奉仕活動	58.0	53.3	60.0	61.9	55.2
8. その他	4.0	0.0	5.7	9.5	0.0
問2. ボランティア活動に関心があるか。 N=50					
1. 非常に関心がある	26.0	53.3	14.3	19.0	31.0
2. ある程度関心がある	60.0	46.7	65.7	61.9	58.6
3. あまり関心がない	10.0	0.0	14.3	9.5	10.3
4. 全く関心がない	4.0	0.0	5.7	9.5	0.0
5. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3. ボランティア活動をしていますか(したことがあるか)。 N=50					
1. 現在している	34.0	46.7	28.6	28.6	37.9
2. 過去にしたことがある	26.0	46.7	17.1	23.8	27.6
3. これまでしたことがない	40.0	6.7	54.3	47.6	34.5
4. わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問3-1. あなたは、どんなボランティア活動をしていますか(していましたか)。(複数回答) N=30					
1. 公共施設での活動	3.3	0.0	6.3	9.1	0.0
2. 青少年健全育成に関する活動	43.3	42.9	43.8	36.4	47.4
3. スポーツ・文化に関する活動	16.7	21.4	12.5	18.2	15.8
4. 人々の学習活動に関する活動	10.0	7.1	12.5	9.1	10.5
5. 自然・環境保護に関する活動	30.0	21.4	37.5	27.3	31.6
6. 国際交流(協力)に関する活動	10.0	7.1	12.5	0.0	15.8
7. 社会福祉に関する活動	23.3	21.4	25.0	36.4	15.8
8. 交通安全に関する活動	6.7	14.3	0.0	9.1	5.3
9. 自然防災活動や災害援助活動	3.3	7.1	0.0	0.0	5.3
10. 保健・医療・衛生に関する活動	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11. チャリティーパーザー	16.7	7.1	25.0	45.5	0.0
12. その他	16.7	14.3	18.8	18.2	15.8

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル (人)	50	15	35	21	29
問3-2. どのくらいの頻度で、ボランティア活動をしていますか（していましたか）。N=30					
1. ほとんど毎日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2. 週に1日くらい	10.0	0.0	18.8	18.2	5.3
3. 週に2～3日くらい	13.3	14.3	12.5	9.1	15.8
4. 月に1日くらい	20.0	28.6	12.5	27.3	15.8
5. 月に2～3日くらい	26.7	42.9	12.5	18.2	31.6
6. 年に数回	20.0	7.1	31.3	27.3	15.8
7. その他	3.3	0.0	6.3	0.0	5.3
8. わからない	6.7	7.1	6.3	0.0	10.5
問3-3. あなたが、ボランティア活動を始めたきっかけは何か。N=30					
1. 自分の自発的な意志で	50.0	42.9	56.3	72.7	36.8
2. 家族や親戚に勧められて	3.3	7.1	0.0	9.1	0.0
3. 友人や知人に勧められて	20.0	28.6	12.5	9.1	26.3
4. 地域などで参加する機会を与えられて	13.3	14.3	12.5	0.0	21.1
5. その他	13.3	7.1	18.8	9.1	15.8
問3-4. ボランティア活動をして良かったと思うことはありましたか。（複数回答）N=30					
1. 友人を得ることができた	50.0	50.0	50.0	54.5	47.4
2. 満足感等を得ることができた	20.0	21.4	18.8	27.3	15.8
3. 知識や技能が身についた	16.7	35.7	0.0	18.2	15.8
4. 人間性が豊かになった	26.7	28.8	25.0	36.4	21.1
5. 活動そのものが楽しかった	43.3	42.9	43.8	36.4	47.4
6. ものの見方や考え方が深まった	46.7	42.9	50.0	54.5	42.1
7. 多くの人たちとの交流ができた	50.0	64.3	37.5	54.5	47.4
8. ボランティア活動の重要性が分かった	30.0	42.9	18.8	45.5	21.1
9. ボランティア活動の大変さが分かった	23.3	35.7	12.5	36.4	15.8
10. その他	3.3	0.0	6.3	0.0	5.3
問3-5. ボランティア活動をしたことがなかったのはなぜか。（複数回答）N=20					
1. 忙しくて時間がないから	50.0	100.0	47.4	50.0	50.0
2. 一緒に活動する仲間がいないから	5.0	0.0	5.3	0.0	10.0
3. 活動に必要な情報が得られないから	10.0	0.0	10.5	10.0	10.0
4. 適当な活動の場が見つからないから	20.0	0.0	21.1	20.0	20.0
5. きっかけや機会がないから	40.0	0.0	42.1	50.0	30.0
6. ボランティア活動に興味や関心がないから	15.0	0.0	15.8	20.0	10.0
7. その他	20.0	0.0	21.1	10.0	30.0
8. 特に理由はない	5.0	0.0	5.3	10.0	0.0

ボランティア活動	全体	性別		年代別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	50	15	35	21	29
問4. 近所に高齢者等がいたら、どのように関わりますか。(2つまで) N=50					
1. 自分が自主的に直接手助けをする	22.0	20.0	22.9	28.6	17.2
2. 近所の人と協力して手助けをする	26.0	6.7	34.3	23.8	27.6
3. 町会などの地域社会の組織を中心に手助けするよう、働きかける	24.0	26.7	22.9	4.8	37.9
4. 民生委員に連絡する	18.0	33.3	11.4	14.3	20.7
5. 行政や福祉施設に連絡し、援助が受けられようにする	40.0	60.0	31.4	42.9	37.9
6. その他	6.0	6.7	5.7	4.8	6.9
7. 何もしない	4.0	0.0	5.7	9.5	0.0
8. わからない	20.0	20.0	20.0	23.8	17.2
問5. 高齢者等のために、協力できる(協力してみたい)と思うものは何か。 N=50					
1. 話相手・新聞の代読	44.0	33.3	48.6	47.6	41.4
2. 買い物	30.0	6.7	40.0	42.9	20.7
3. 掃除・洗濯などの家事	14.0	0.0	20.0	4.8	20.7
4. 食事の用意・かたづけ	14.0	0.0	20.0	9.5	17.2
5. 食事や入浴などの介助	2.0	0.0	2.9	0.0	3.4
6. 手話通訳や点訳など	10.0	13.3	8.6	19.0	3.4
7. 外出の付き添い	20.0	40.0	11.4	23.8	17.2
8. 庭の草取りや大工仕事	8.0	26.7	0.0	4.8	10.3
9. その他	8.0	6.7	8.6	9.5	6.9
10. 特にない	14.0	20.0	11.4	9.5	17.2
問6. 1日だけのボランティア活動があるとしたら、参加してみたいと思うか。(2つまで) N=50					
1. 参加したい	36.0	40.0	34.3	19.0	48.3
2. どちらかといえば参加したい	36.0	46.7	31.4	42.9	31.0
3. あまり参加したくない	4.0	0.0	5.7	4.8	3.4
4. 参加したくない	4.0	0.0	5.7	9.5	0.0
5. その他	8.0	6.7	8.6	14.3	3.4
6. わからない	12.0	6.7	14.3	9.5	13.8
問7. ボランティア活動の経験やその結果を入学試験や官公庁・企業などの採用・昇任時ににおける評価の1つにすることに対してどのように思いますか。 N=50					
1. 積極的に評価を行うべき	16.0	20.0	14.3	23.8	10.3
2. 何らかの形で評価をすべき	36.0	46.7	31.4	23.8	44.8
3. 評価を行うべきではない	32.0	26.7	34.3	42.9	24.1
4. その他	2.0	6.7	0.0	4.8	0.0
5. わからない	14.0	0.0	20.0	4.8	20.7

ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	全体	性 別		年 代 別	
		男	女	40歳未満	40歳以上
サンプル(人)	50	15	35	21	29
問7-1. どのような形で評価を行うのが良いと思いますか。(2つまで) N=26					
1. 企業などにおける採用時での評価	38.5	40.0	37.5	40.0	37.5
2. 企業などにおける昇任時での評価	3.8	10.0	0.0	0.0	6.3
3. 大学などの入学試験での評価	23.1	0.0	37.5	40.0	12.5
4. 感謝状授与など社会的に賞賛する	61.5	80.0	50.0	50.0	68.8
5. 金銭的评价	11.5	20.0	6.3	10.0	12.5
6. その他	7.7	10.0	6.3	10.0	6.3
7. わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問7-2. 評価を行うべきではないと思うものはどうしてですか。 N=16					
1. 自分自身が充実感等を得られればそれでよく、社会等から評価を求めるものではないから	18.8	0.0	25.0	11.1	28.6
2. 義務的になり、自発性がそこなわれるおそれがあるから	18.8	0.0	25.0	33.3	0.0
3. 採用時の評価を有利にするためにボランティア活動に参加する人が増えるから	6.3	0.0	8.3	11.1	0.0
4. ボランティア活動というものは、無償で行うものであり見返りを求めるものではないから	56.3	100.0	41.7	44.4	71.4
5. その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問8. 「足立区ボランティアセンター」が設立したことを、知っていますか。 N=50					
1. 知っていた	34.0	46.7	28.6	42.9	27.6
2. 知らない	66.0	53.3	71.4	57.1	72.4
問9. 今後ボランティア活動について、足立区にどのようなことを望むか。(2つまで) N=50					
1. ボランティア活動を学校教育において重視する	30.0	40.0	25.7	33.3	27.6
2. ボランティア活動に関する情報を、もっと提供する	60.0	60.0	60.0	57.1	62.1
3. ボランティア活動の養成・研修の機会を充実させる	40.0	40.0	40.0	38.1	41.4
4. ボランティア団体等の対して経済的な支援を、行う	38.0	40.0	37.1	38.1	37.9
5. その他	2.0	6.7	0.0	0.0	3.4
6. 特にない	4.0	0.0	5.7	4.8	3.4